

(報告) 豪雨リスクの対応状況
D排水路工事の進捗状況等について

2022年1月27日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. D排水路工事について

【工事概要】

- 豪雨リスクに最も効果のあるD排水路を延伸整備し、2022年台風シーズン前迄に豪雨リスクの解消を図る。
- 下図、赤ラインの総延長約800m（推進トンネルΦ2200）であり、物揚場前面海域の港湾内に排水される。
- 内水浸水解析結果から1号機北東部への雨水流入範囲に接続升を追設している。

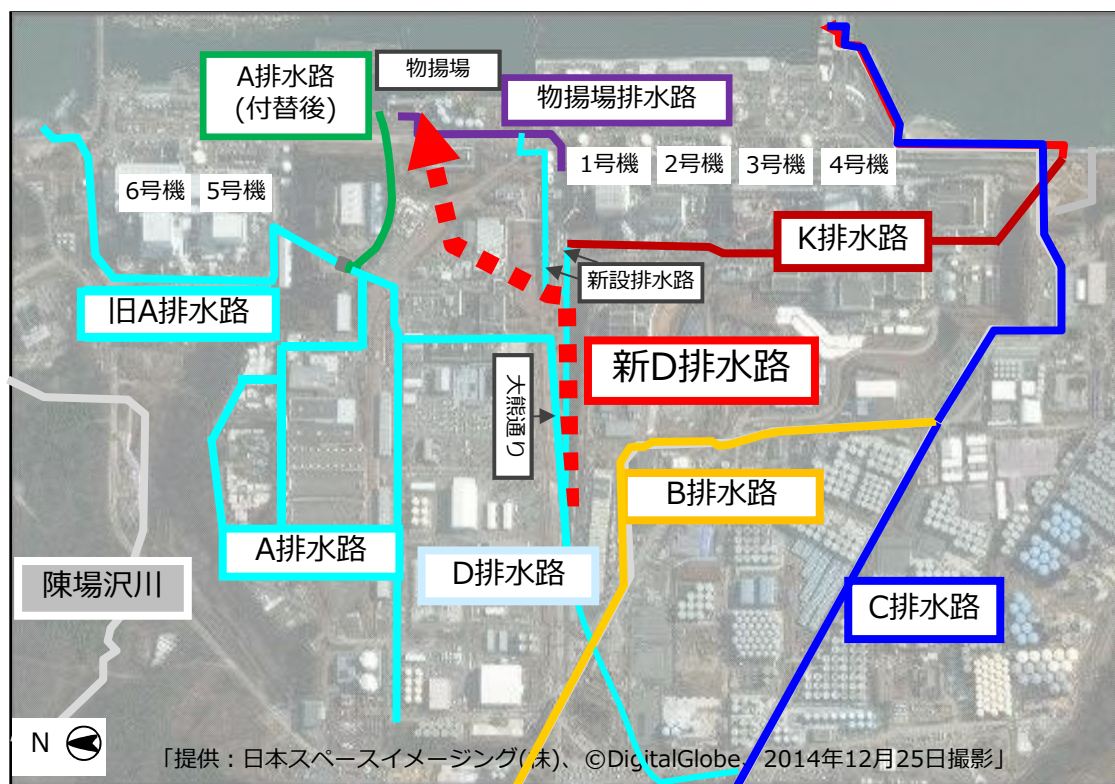
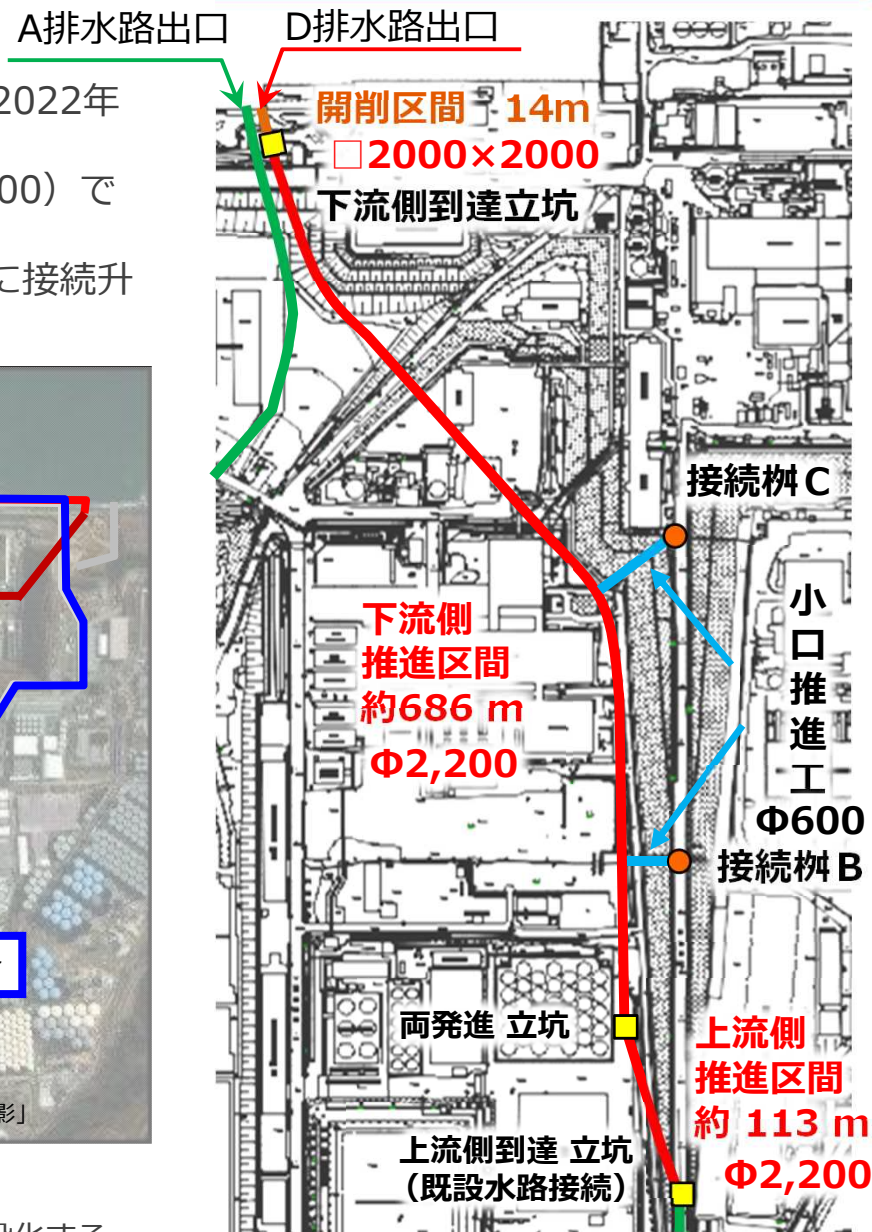


図1 構内排水概要図

※図中の「新設排水路」は仮設扱いであり、「新D排水路」で本設化する。



2. 工事進捗状況（1）（下流側到達立坑）

- 2022年1月28日 下流側立坑に到達する（下流側推進686m掘削）



2. 工事進捗状況（2）（推進工工事）

- 2021年9月6日から掘進作業を本格的に開始。（2021年9月28日 本掘進開始）



写真② 推進管直線部
免震棟南側直下

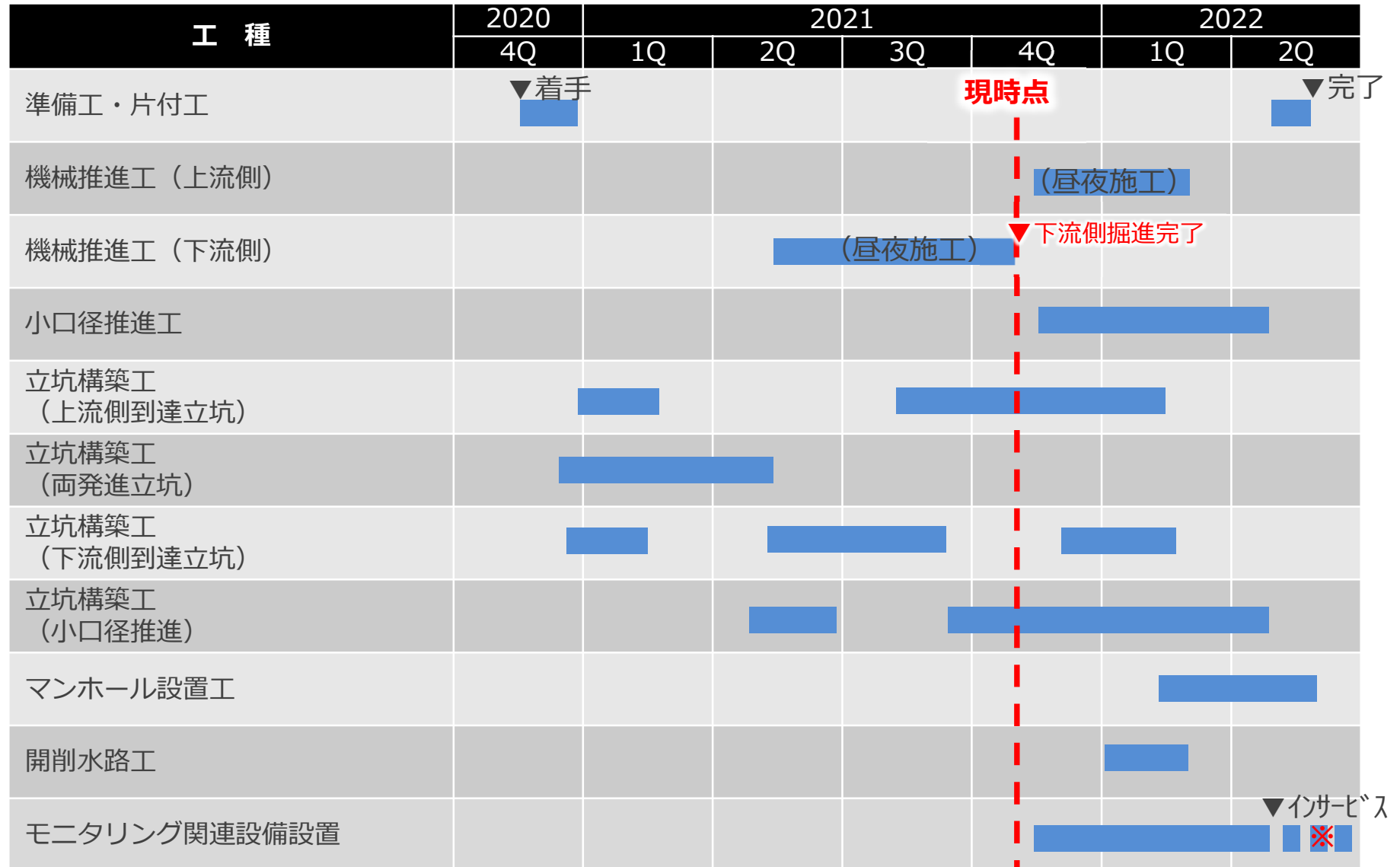


写真③ 推進管曲線部
事務本館南側直下

- 2022年1月28日 下流側立坑に到達する。
今後は上流側推進設備盛替工事を行い2022年3月中旬から上流側掘進作業を開始し2022年4月下旬に到達予定。

3. D排水路工事及び関連工事工程

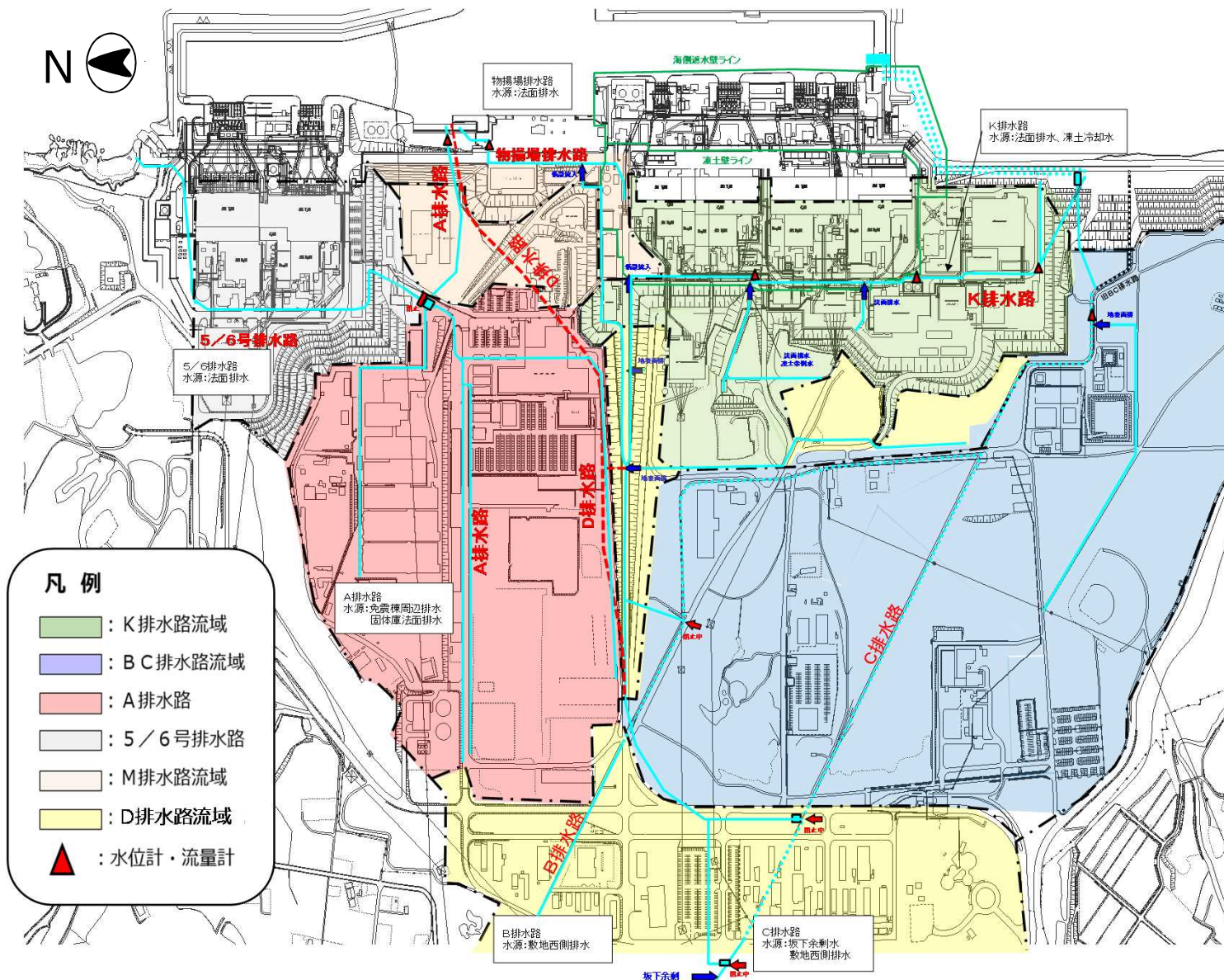
- 2022年台風シーズン前迄にD排水路の機能発揮し豪雨リスクの早期解消を目指す。



※電源2系統工事を実施

参考資料

【参考資料】 D排水路運用後の構内排水路系統図



※ D排水路運用開始以降は、現在、供用中の新設排水路（下流側）は排水系統が変更される予定

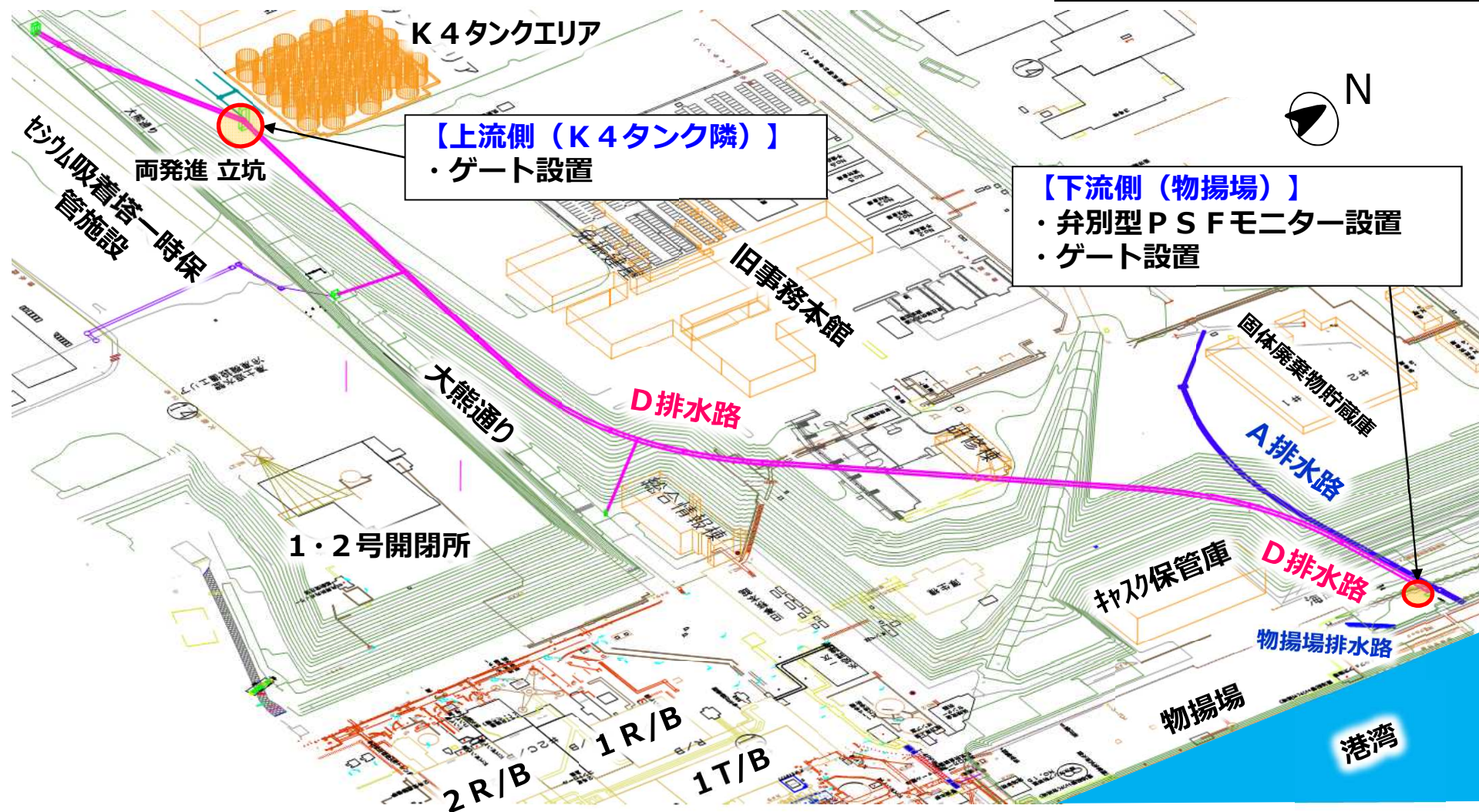
【参考資料】モニタリング関連設備工事の概要について

TEPCO

- D排水路運用に向け、最下流部に、K排水路でも設置済の弁別型P S Fモニターを設置することで計画中。また万が一の事態に備え、上流側にもゲートを設置する計画である。

【凡例】

- : D排水路
- : モニタリング関連設備



【参考資料】 D排水路の流末の位置関係について

TEPCO

